

他の国家資格における出題範囲、問題構成、試験の分量及び合格基準等

資格名 項目	獣医師	医師	看護師	言語聴覚士	公認心理師
出題範囲 (令和元年度)	飼育動物の診療上必要な獣医学並びに獣医師として必要な公衆衛生上に関する知識及び技能  具体的には、獣医師国家試験出題基準(平成26年9月4日獣医事審議会決定)による	临床上必要な医学及び公衆衛生に関して、医師として具有すべき知識及び技能	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進 健康支援と社会保障制度 基礎看護学 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学 在宅看護論 看護の統合と実践	基礎医学 臨床医学 臨床歯科医学 音声・言語・聴覚医学 心理学 音声・言語学 社会福祉・教育 言語聴覚障害学総論 失語・高次脳機能障害学 言語発達障害学 発声発語・嚙えん下障害学 聴覚障害学	公認心理師として具有すべき知識及び技能
出題方式 問題の性質 問題数	筆記試験(2日間) ○330問(五肢択一又は多肢選択式) ・必須問題 50問 ・学説試験 160問 ・実地試験 120問	筆記試験(2日間) ○400問(五肢択一又は複数選択式) ・必修一般 50問 ・必修臨床 50問 ・一般問題 100問 ・臨床実地問題 200問	筆記試験(1日) ○240問(五肢択一、四肢択一又は複数選択式等) ・必修問題 50問 ・一般問題 130問 ・状況設定問題 60問	筆記試験(1日) ○200問(五肢択一)	筆記試験(1日) ○154問(五肢択一、四肢択一又は複数選択式等) ・一般問題 116問 ・事例問題 38問
試験日数 試験時間	1日目:290分 (必須問題50分、学説240分) 2日目:240分	1日目:410分 2日目:410分	午前:160分 午後:160分 合計:320分	午前:150分 午後:150分 合計:300分	午前:120分 午後:120分 合計:240分
合格基準・配点	1問1点とし、合否判定基準は、 (i)必須問題については、必要な補正を行って算出した点数の70%とする。 (ii)他の問題(学説A・B及び実地C・D)については、必要な補正を行って算出した総合点の60%とする。	必須臨床を1問3点とし、それ以外は1問1点としたとき、以下の(1)~(3)の全ての合格基準を満たした者が合格となる。 (1)必修問題 80%以上 (2)一般・臨床実地問題 相対評価(概ね70%前後) (3)禁忌肢(例年3問)	必修問題及び一般問題を1問1点、状況設定問題を1問2点とし、次の(1)~(2)の全てを満たす者を合格とする。 (1)必修問題 80%以上 (2)一般問題及び状況設定問題は相対評価(概ね65%程度)	1問1点とし、正答率※60%以上を合格基準とする (※200点満点中120点以上で合格)	一般問題を1問1点、事例問題を1問3点とし、正答率※60%以上を合格基準とする (※230点満点中138点以上で合格)  (注)公認心理師カリキュラム等検討会報告書においては、「基本的能力を主題とする問題の正答率は、試験の実施状況を踏まえ、将来的に基準となる正答率を定める」とこととされている。
試験の実施状況	第71回(令和元年度) 受験者数:1,183人 合格者数:1,023人 合格率:86.5%	第114回(令和元年度) 受験者数:10,140人 合格者数:9,341人 合格率:92.1%	第109回(令和元年度) 受験者数:65,569人 合格者数:56,175人 合格率:89.2%	第22回(令和元年度) 受験者数:2,486人 合格者数:1,626人 合格率:65.4%	第1回(平成30年9月) 受験者数:36,103人 合格者数:28,574人 合格率:79.1%  第2回(令和元年8月) 受験者数:16,949人 合格者数:7,864人 合格率:46.4%